

株式会社ニツカト一 2020年3月期決算説明資料

1. 中長期的な戦略について
2. 2020年3月期業績概要
3. 2021年3月期業績予想
4. 事業トピックス

1. 中長期的な戦略について

2. 2020年3月期業績概要

3. 2021年3月期業績予想

4. 事業トピックス

当社は得意とする特定分野のセラミックス製品
並びに計測機器と加熱装置のリーディングカン
パニーを目指しております。

- ✓ ジルコニアボール並びに構造部材及び圧電体・次世代電池向け熱処理道具材の生産能力の増強
- ✓ 温室効果ガス排出量の削減等エネルギーの効率的利用と各種部材の生産技術の向上による品質、生産効率の改善による合理化の推進
- ✓ マーケットニーズに対応したセラミックス新製品及びエンジニアリング新商品の開発と拡販
- ✓ 働き方改革の実現及び中長期的な労働力の確保並びに人材教育の推進
- ✓ 内部統制システムの構築に基づくガバナンス強化及びリスク管理の強化や内部監査の充実による管理体制の整備

1. 中長期的な戦略について
2. 2020年3月期業績概要
3. 2021年3月期業績予想
4. 事業トピックス

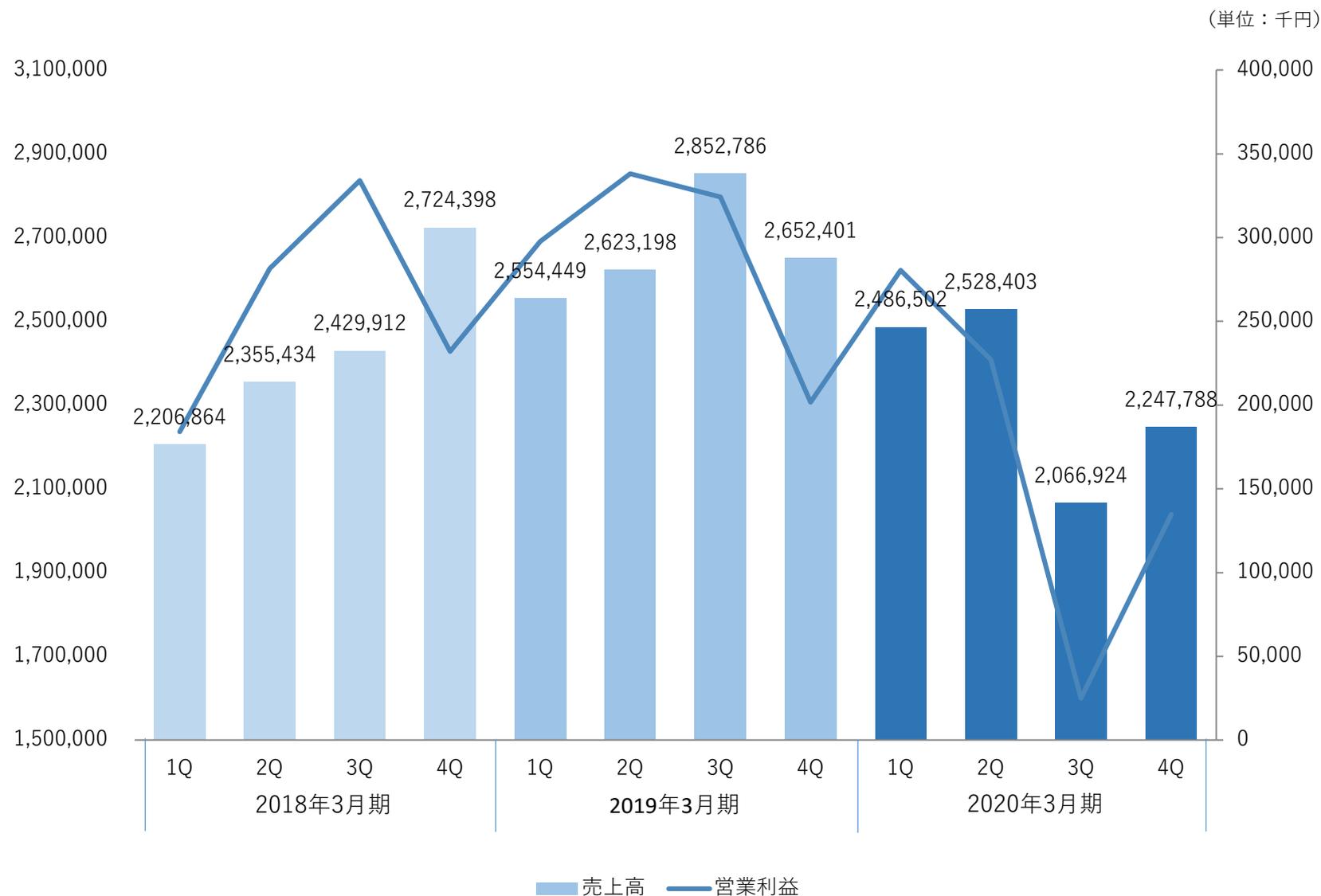
経営成績の概要

(単位：千円)

	2019年3月期		2020年3月期		対前年		対通期予算	
	実額	売上比	実額	売上比	増減額	増減率	予算	達成率
売上高	10,682,834		9,329,618		-1,353,215	-12.7%	9,400,000	99.3%
売上原価	8,085,921	75.7%	7,303,895	78.3%	-782,026	-9.7%	7,450,000	98.0%
販売費及び一般管理費	1,435,117	13.4%	1,359,294	14.6%	-75,822	-5.3%	1,410,000	96.4%
営業利益	1,161,795	10.9%	666,429	7.1%	-495,366	-42.6%	540,000	123.4%
経常利益	1,228,320	11.5%	752,367	8.1%	-475,952	-38.7%	610,000	123.3%
当期純利益	791,491	7.4%	441,068	4.7%	-350,422	-44.3%	400,000	110.3%
研究開発費	212,846	2.0%	219,477	2.4%	6,631	3.1%	-	-
EPS(円)	66.31	-	36.95	-	-29.36	-	-	-
ROA (%)	5.3	-	2.9	-	-2.4	-	-	-
ROE (%)	7.4	-	4.1	-	-3.3	-	-	-

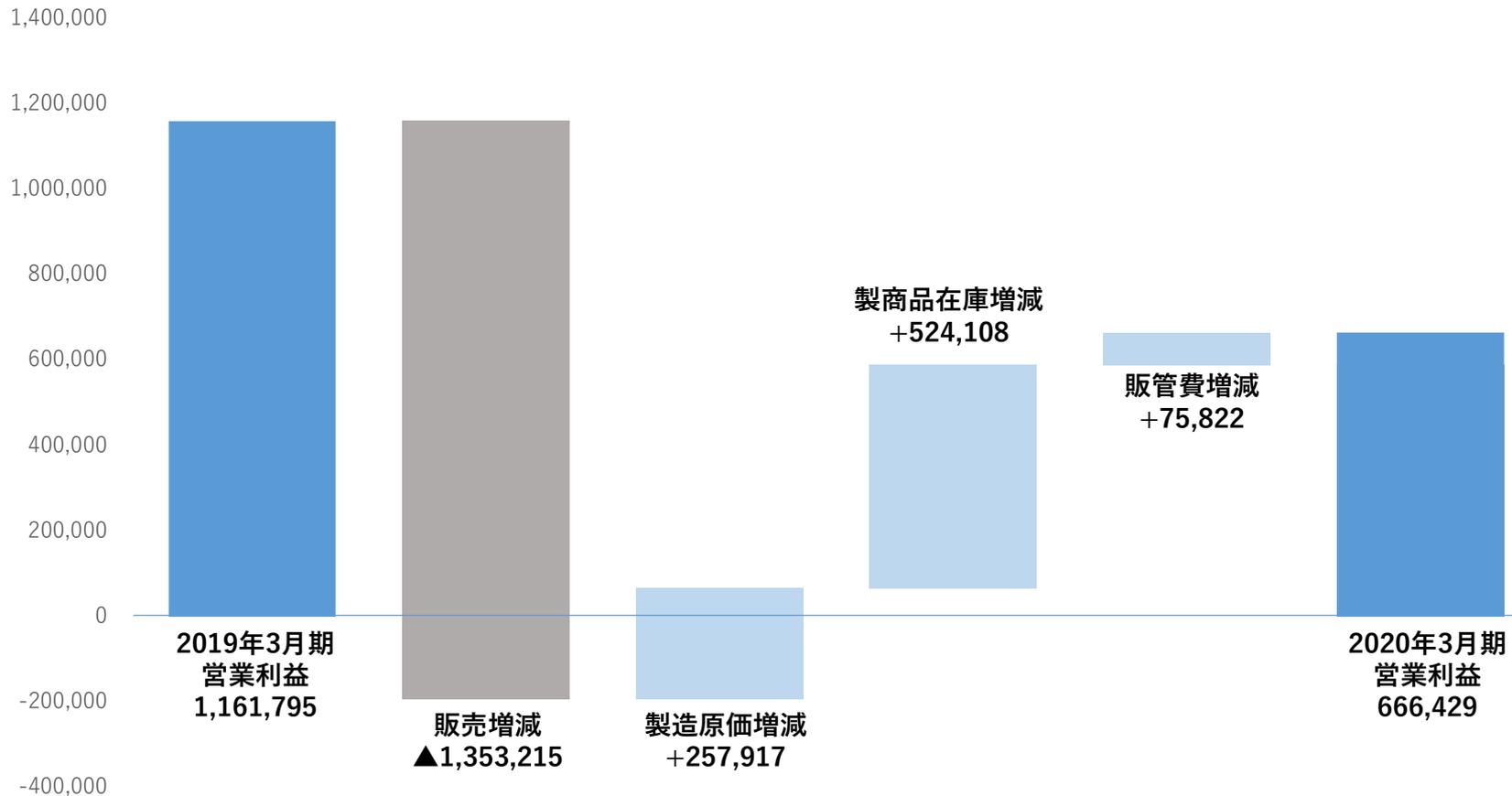
※2020年3月期通期予算を修正いたしております。詳しくは2020年2月3日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

売上高・営業利益推移(四半期毎)



営業利益増減要因

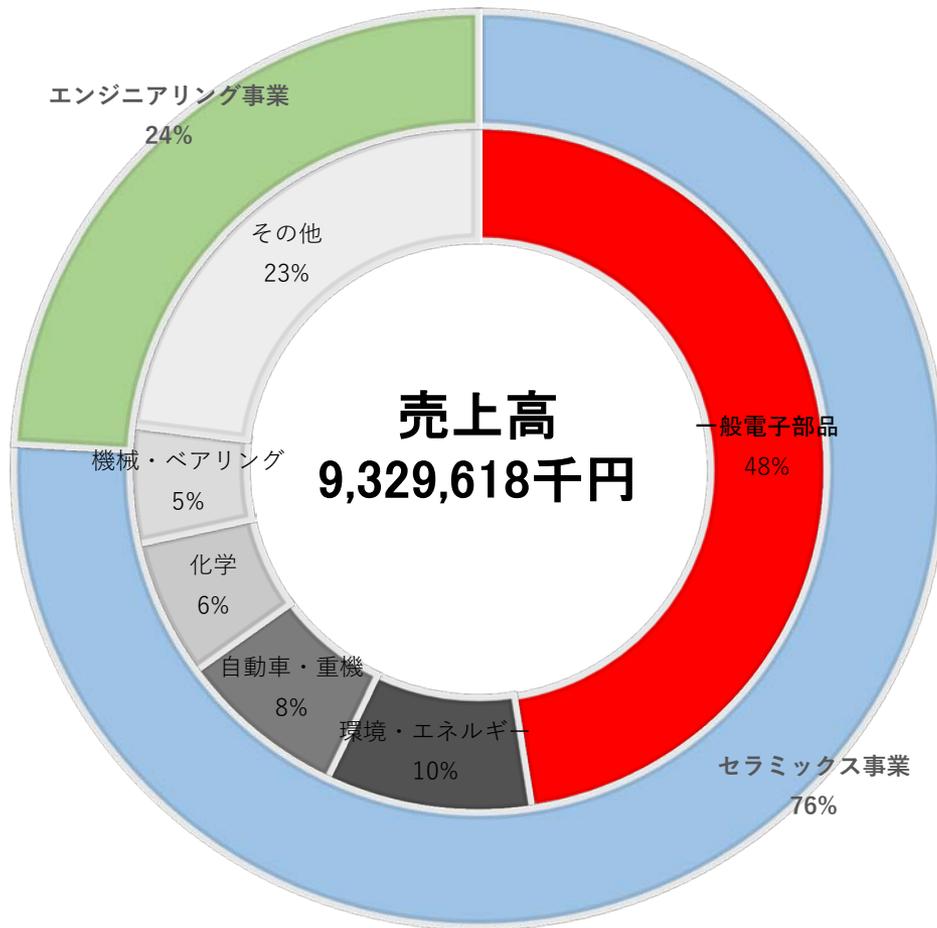
(単位：千円)



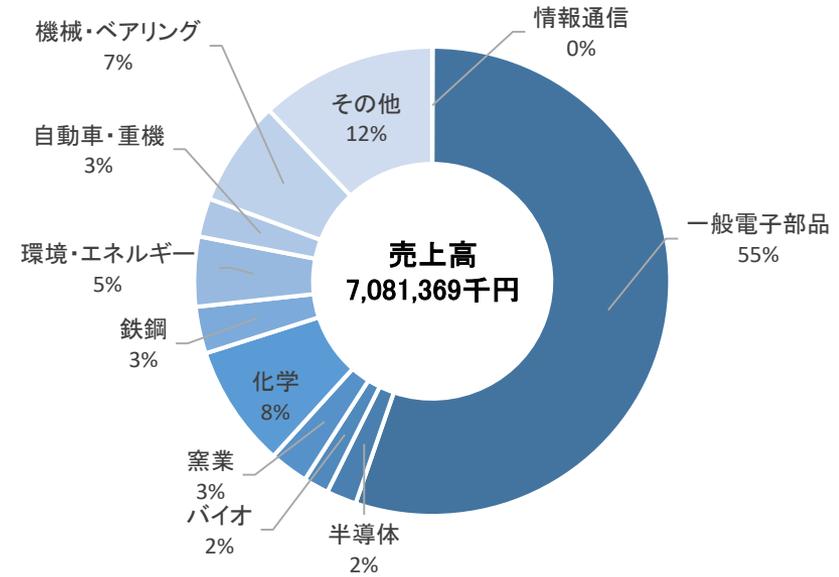
- ✓ 減収による影響が大きく、生産の合理化及び販管費の削減に努めるも前年同期比42.6%減益となった。

マーケット別構成比

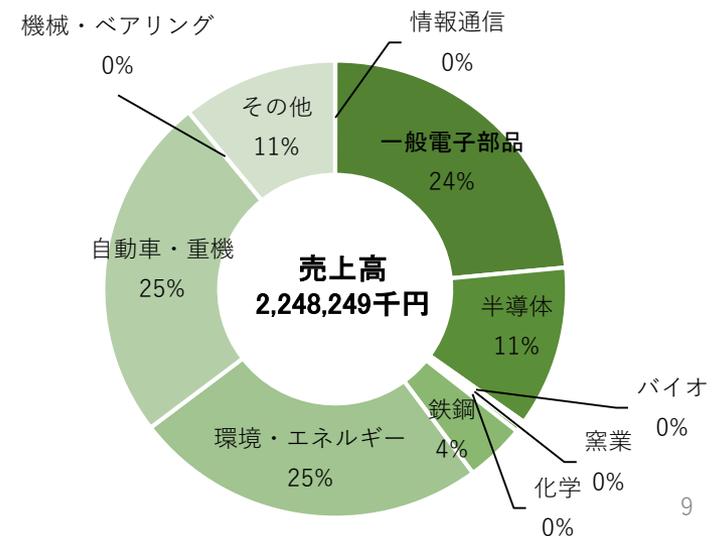
全社



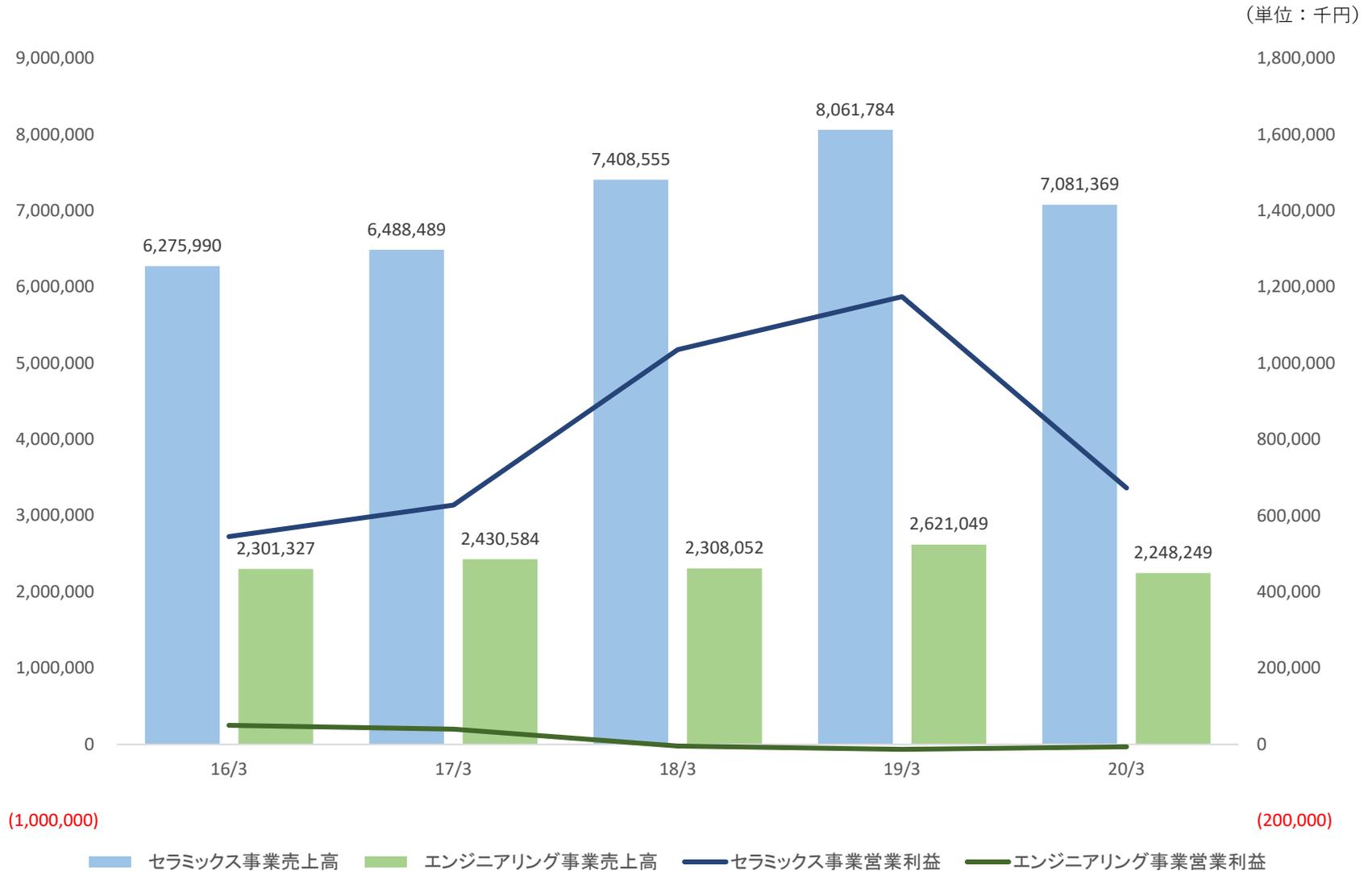
セラミックス事業



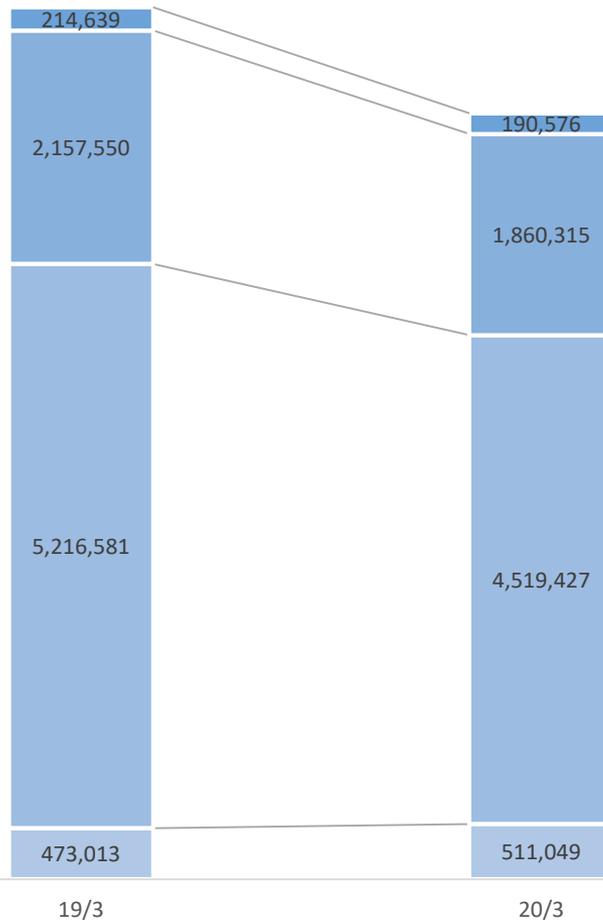
エンジニアリング事業



セグメント別業績推移



(単位: 千円)



■ 機能性セラミックス ■ 耐摩耗セラミックス ■ 耐熱セラミックス ■ 理化学用陶磁器他

- ・米中貿易摩擦・新型コロナウイルスの影響で事業年度通じて苦戦。
- ・フィルターチューブ等 環境関連向け機能性セラミックスは堅調。
- ・YTZボール新棟建設は、2020年9月竣工に向け工事中。
- ・積極的な設備投資により生産効率改善・省力化に注力。

(単位:千円)



- ・設備投資案件自体が少なく、加熱装置の受注面での苦戦が続く。
- ・消耗品についても競争激化に伴い粗利益の確保に苦慮。
- ・2020年3月31日付で北関東営業所閉所及び組織体制の刷新により収支改善に注力。

貸借対照表

(単位：千円)	19/3末	20/3末	増減率
流動資産	9,135,719	8,338,649	△ 8.7%
現金預金	2,627,237	2,410,596	△ 8.2%
売掛債権	3,749,013	3,079,940	△ 17.8%
棚卸資産	2,625,438	2,765,545	5.3%
その他	134,029	82,567	△ 38.4%
固定資産	5,945,241	6,882,191	15.8%
有形固定資産	3,846,332	5,032,631	30.8%
無形固定資産	56,469	146,842	160.0%
投資その他	2,042,439	1,702,717	△ 16.6%
資産合計	15,080,961	15,220,841	0.9%

・流動資産

現金預金 設備関連の支払いにより現預金が減少
 売掛債権 売上の減少により売掛債権が減少

・固定資産

有形固定資産 設備投資により有形固定資産が増加
 無形固定資産 ソフトウェアへの投資により資産が増加

	19/3末	20/3末	増減率
流動負債	3,824,618	2,888,260	△ 24.5%
買掛債務	1,958,648	1,385,790	△ 29.2%
短期借入金	450,696	620,892	37.8%
その他	1,415,273	881,577	△ 37.7%
固定負債	367,406	1,467,415	299.4%
長期借入金	6,500	1,178,412	-
その他	360,906	289,003	△ 19.9%
純資産	10,888,936	10,865,165	△ 0.2%
株主資本	10,456,484	10,634,770	1.7%
評価・差額等	432,451	230,394	△ 46.7%
負債・純資産合計	15,080,961	15,220,841	0.9%

・流動負債

買掛債務 売上の減少により買掛債務が減少

・固定負債

長期借入金 長期借入金の借入による増加

・純資産

評価・差額等 株価下落による評価差額等の減少により減少

キャッシュフロー計算書

(単位：千円)	19/3末	20/3末	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	738,202	776,232	38,029
税引前当期純利益	1,116,004	645,764	△ 470,240
減価償却費	564,742	648,800	84,057
棚卸資産の増減額	△ 481,790	△ 140,106	341,684
その他	△ 460,754	△ 378,226	82,528
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 501,175	△ 2,071,626	△ 1,570,451
有形固定資産の取得	△ 625,633	△ 2,028,159	△ 1,402,526
その他	124,457	△ 43,466	△ 167,924
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 392,473	1,078,753	1,471,227
配当金の支払額	△ 274,019	△ 262,345	11,673
その他	△ 118,454	1,341,099	1,459,553
現金等の増減額	△ 155,446	△ 216,640	△ 61,194
現金等の期末残高	2,627,237	2,410,596	△ 216,640

- ・ 営業 C F
 - 税引前当期純利益
 - 減収による影響で大幅減益
 - 棚卸資産の増減額
 - 在庫の増加
 - その他
 - 減収による仕入債務の減少
- ・ 投資 C F
 - 有形固定資産の取得
 - セラミックス事業新規及び更新設備投資
- ・ 財務 C F
 - その他
 - 設備投資資金の新規借入

1. 中長期的な戦略について
2. 2020年3月期業績概要
3. 2021年3月期業績予想
4. 事業トピックス

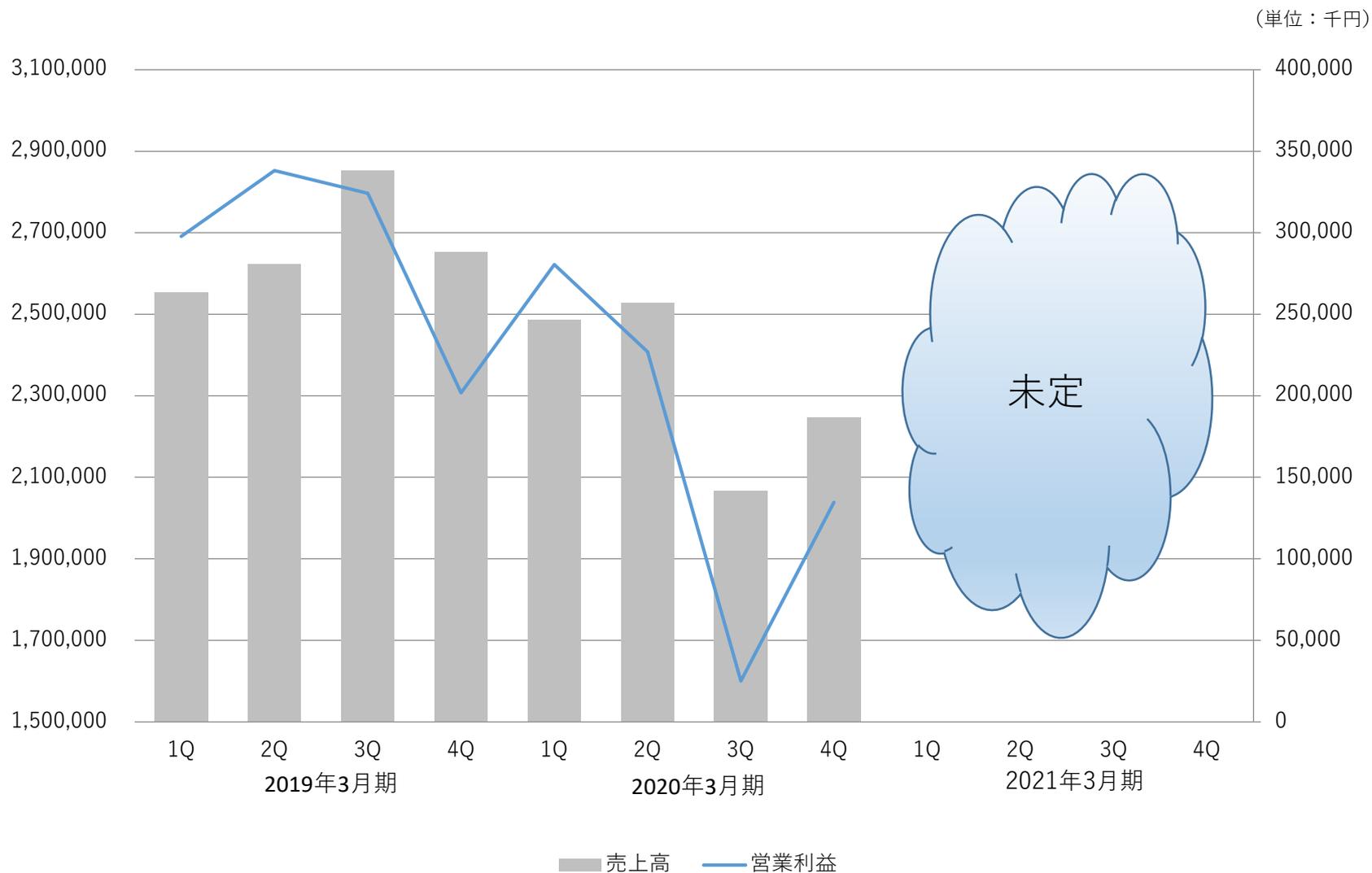
2021年3月期業績予想(1)

(単位：千円)

	2019年3月期(予想)		2020年3月期(実績)		実績比	2021年3月(予想)	
	金額	売上比	金額	売上比		金額	売上比
売上高	9,400,000		9,329,618		-0.7%	-	
売上原価	7,450,000	79.3%	7,303,895	78.3%	-2.0%	-	-
販売費及び一般管理費	1,410,000	15.0%	1,359,294	14.6%	-3.6%	-	-
営業利益	540,000	5.7%	666,429	7.1%	23.4%	-	-
経常利益	610,000	6.5%	752,367	8.1%	23.3%	-	-
当期純利益	400,000	4.3%	441,068	4.7%	10.3%	-	-

- ✓ 国内外の新型コロナウイルスの影響による企業活動の制約や市場環境の悪化等あまりにも不確定要素が多く2021年3月期の業績予想を合理的に見積もることが困難なことから業績予想を未定とさせていただきます。

2021年3月期業績予想(2)

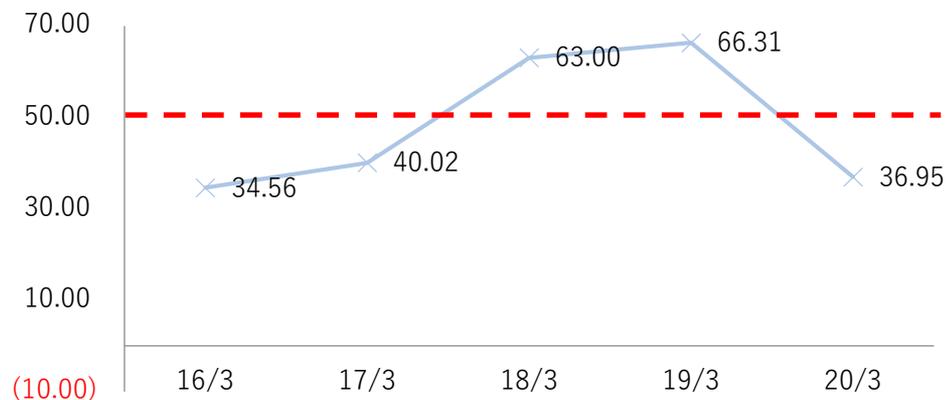


- ✓ ROE(自己資本当期純利益率)
→8%以上
- ✓ EPS(1株当たり当期純利益)
→50円以上
- ✓ 配当性向
→30%~50%

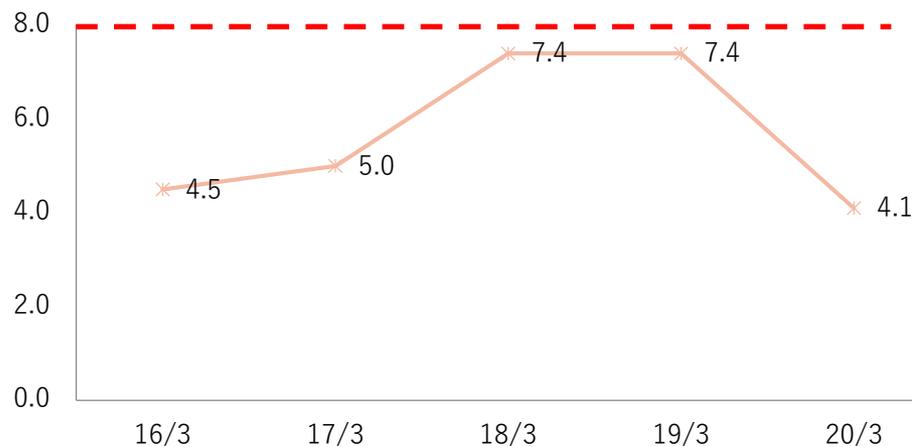
目標とする経営指標(2)

(過年度実績)

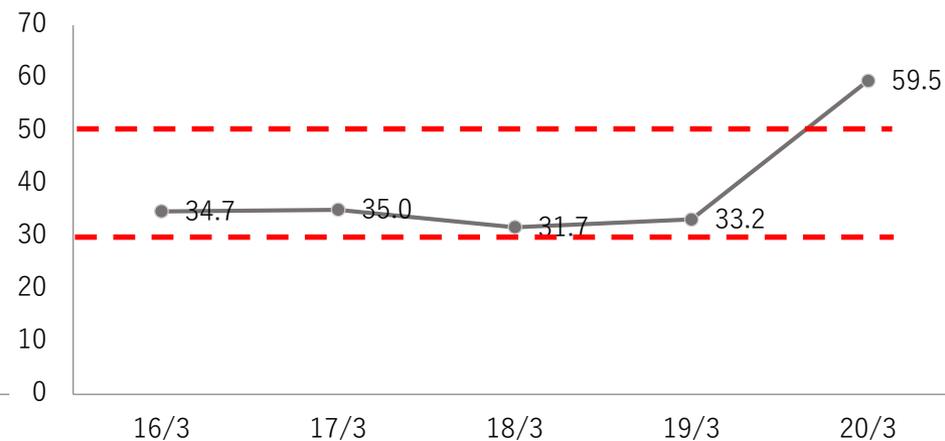
EPS(円)



ROE (%)



配当性向 (%)



1. 中長期的な戦略について
2. 2020年3月期業績概要
3. 2021年3月期業績予想
- 4. 事業トピックス**

【熱処理用部材NO.1メーカーを目指して】

あらゆるモノがネットワークでつながる次世代通信技術、電動化・自動運転化が進む自動車産業などデジタル・エネルギー分野は急速に進化しております。これらの技術を支える電子部品をはじめとする先端技術は今後、益々重要となってきます。当社が長年、市場に提供しております原料粉体の合成や部品の熱処理に欠かせないセッター、チューブ、容器類である熱処理用部材も先端技術の多様化にマッチした品質特性が求められております。そのため、当社では長年培ってきた”技術開発力”と”ものづくりへのこだわり”をベースに日々変化するニーズに対し、材料開発から製品化・量産化をスピーディーに進めるべく、体制を整えました。

これにより、より高機能化が求められる電子部品等の先端材料の本来の特性を実現可能とする熱処理用部材を提供していきます。

2020年3月期現在、熱処理用部材の売上構成比は全体の20%を占めておりますが、今後、今まで以上に高品質かつ安定した品質の製品の安定供給により一層努め、熱処理用部材メーカーとして業界NO.1を目指し、進化続けていきます。



【セラミックスチューブ】



【アルミナ焼成容器】



【ジルコニアセッター】



【CeraFlow®セッター】

(注) 本資料に記載いたしております業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分にリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。